

内 分 泌 外 科

1. 目的と特徴

職業人としての内分泌外科医専門医を養成する。ここでいう職業人は患者とその家族が満足する医療を実践できるよう、わが国の風土を学んで臨床に生かしながら、生涯をかけて知、技、そして心を学ぶ。

2. 指導陣

准教授	堀内喜代美
講師	尾身葉子
准講師	吉田有策

3. 研修施設

基幹施設：東京女子医科大学病院 内分泌外科

研修協力施設：TMGあさか医療センター、中央林間病院、東京北部病院、伊藤病院、埼玉石心会病院

4. 研修カリキュラム

A：一般目標

患者とその家族が快適に生活できるように、知識や技術はもちろんのこと、人間性についても研鑽を怠らない臨床家となる。

B：行動目標

- 1) 診療指針、最新の医療情報を常に参照する。
- 2) 症例検討会に参加し、討論する。
- 3) 医療記録（診療録、手術記録、病歴要約）を正確に、漏れなく記載する。
- 4) 鑑別診断ができる。
- 5) 研鑽手技（超音波検査、読影、細胞診、針生検）ができる。
- 6) 診療方針を決めるにあたり、上級医・指導医と相談する。
- 7) 診断や管理方針について、患者と家族の理解度に配慮しながら説明できる。
- 8) 手術前の全身評価、管理ができる。
- 9) 創部の処置を含めた術後管理ができる。
- 10) 低～中難度の手術を施行する。高難度の手術の助手をする（500例以上）。
- 11) 外科専門医を取得し、内分泌・甲状腺外科専門医の申請資格を得る。
- 12) 初期研修医、下級後期臨床研修医を指導する。
- 13) 学会に参加し、発表する。発表内容を論文として投稿する。

C：年次別研修スケジュールと研修内容概略

以下は基本的な予定であり、個別には異なることがある。

	研修場所	研修内容
1年	基幹施設	術前術後管理、手術、検査、外科管理、総合外科カリキュラム（消化器外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科など）、学会発表
2年	基幹施設	術前術後管理、手術、検査、外科管理、総合外科カリキュラム（消化器外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科など）、学会発表
3年	研修病院	術前術後管理、手術、外来、外科専門筆記試験、学会発表
4年	研修病院	術前術後管理、手術、外来、外科専門面接試験、学会発表
5年	基幹施設	病棟主任研修医、手術、外来、学会発表、臨床研究

D：基幹施設での週間予定

	朝	研修内容
月	医局カンファランス	病棟・外来・手術・検査
火	病棟医カンファランス	病棟・外来
水	医局カンファランス	病棟・外来・手術
木	病棟医カンファランス	病棟・外来
金	医局カンファランス	病棟・外来・検査（超音波検査・細胞診・組織診）
土	班回診	病棟・外来

E：評価

指導陣から適宜、形成的評価を受ける。

5. 後期臨床研修終了後の進路

東京女子医科大学内分泌外科に助手もしくは助教として就職が可能である。

6. 学位

大学院入学者は4年間で修了し学位取得が可能である。大学院に進学しない場合でも、指導の下に研究を行って研究論文を作成し、学位を申請・取得することが可能である。

7. 専門医

外科専門医を取得する。その後の研鑽により、内分泌・甲状腺外科専門医を取得することができる。

8. 問い合わせ先

〒162-8666 東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学 内分泌外科

准教授 堀内喜代美

講師 尾身葉子

准講師 吉田有策

TEL：03-3353-8111（内線：37213）

FAX：03-5269-7617（医局）